

Exhibit-131

11503-1

在東京府東京市千代田区
田米利加合衆國海軍省
其他ニ關スル供進材料
FILE COPY
RETURN TO ROOM 361

私、江川（エ）ハ宣誓ヲナシ且ツ次ノ如ク供進シマ
ス。

私ハ現在京都帝國大學ノ法學部長デアリマス。私ハ
小學校ニ始マリ大學ヲ卒業スル迄日本ノ學校ニ於テ教
養ヲ受ケ法學博士ノ學位ヲ受ケマシタ。日本ノ學
校ニ於ケル學生トシテ又後日大學教授トシテ小學校
ヨリ大學ニ至ル迄（大學ヲ含ム）ノ間ニ教ヘラレタ
種々ノ教授目ヲ熟知シテ居リマス。軍事教練ハ、小
學校ニ始マリ日本ニ於ケル總テノ學校ノ教授ノ一部
デアリマシタ。

一九二五年（大正十四年）頃ヨリ京都帝國大學ニ於
テハ軍事訓練及教練ニヨリ多クノ注意ガ拂ハレマシ
タ。軍事課目ヲ教授スル職員ニ大佐一名大尉三名ガ
居リマシテ之等ノ將校ハ陸軍省カラ來タモノデアリ
マシタ。

之等將校ノ學内ニ於ケル勢力ハ漸次侵蝕トナリマシ
タ。彼等ハ大學ノ經營ノ方法ニ付テモ漸次實際ノ度
ヲ増シ行キマシタ。

彼等が最初大學ニ來タ時ハ大キナ勢力ハアリマセン
デシタガ一九三一年（昭和六年）ノ通訓事變及一九
三七年（昭和十二年）ノ支那事變ニ伴ヒ豊々ト勢力
ヲ得、結局大學ハ全ク軍部ノ支配下ニアル結果トナ
リマシタ。

私ハ一九二三年（大正十四年）頃ニ始マツタ大學ノ
 軍事課程ニ反對ヲ表明シマシタ。之ハ私ダケデナク
 他ノ教授モ同ジク本義ニ反對シマシタ。最初右ノ
 軍事科目ヲ教ヘル教授達ハ表向私ニ反對シテ前ハ學校
 内ノ軍事的ナモノニ對スル私ノ反對ヲ妨害スルガ如
 キコトハアリマセシタガ陸軍省ヲ通ジテノ工作
 ニヨリ私ニ對スル困難ナル問題ヲ惹起シマシタ。
 一九三一年（昭和六年）又ハ一九三二年（昭和七年）
 私ハ滿洲事變ニ反對スル論文ヲ發表シマシタ。一九
 三三年（昭和八年）ヒットラーガ獨逸ニ於テ政權ヲ
 獲得セル際、私ハヒットラーニ反對スル論文ヲ書キ
 マシタ。其ノ時、一九三三年（昭和八年）ニハ日本
 政府ハヒットラーノ方法ヲ模倣シテ居リマシタ。「
 テテス」ヲ採伴シタ論文ハ發表前內務省ニヨリ禁固
 セラレ大ナル削除ヲ受ケマシタ。
 一九三二年（昭和七年）私ハ法律書ヲ著シ其ノ中
 ニテ治安維持法ハ愚癡及言論ノ自由ニ關シ學生ノ刑
 事訴訟ニ引用セラルベキデナイト主張シマシタ。此
 書ヲ著シタルコト及他ノ諸違法行為即滿洲事變ニ反
 對セル私ノ論文及「テテス」型政府ニ反對セル論文ノ
 爲メニ私ハ一九三三年（昭和八年）大學ヲ免職セシ
 メラレマシタ。
 大學ヨリ退キタル後、私ハ日本ノ學校制度上ノ種々
 ナル變化ヲ充分知ルヨウニシテ來マシタ。日本ノ大
 學ニ於テハ教科書ハ多クハ用ヒラレマセン、併シ軍
 事概念及軍事思想ハ講義中ニ含まレマシタ。
 私ハ今日迄日本ノ學校制度ニ於テ長モ普遍的ナル教

11503-3
育形式ヲ熟知シ居リマスガ、ソレハ誠ニ宜シカラザ
ル形式デアリマス。ソレハ全く自由ナル思考、自由
ナル思想ヲ俟キ、中國及滿洲ニ於ケル日本ノ侵略的
戦國行爲ニ理由付ケントスルコトノミニ没頭セルモ
ノデ戦争ハ光榮アルモノ、必兵アルモノ、主權的ノ
モノ、又日本ノ將來ノ偉大ト運命トハ一ニカ、ツテ
侵略的戦國行爲ニアルコトヲ學生ニ教フル如ク企テ
ラレ學生ノ心ニ他ノ民族國民ニ對スル蔑視、優越感
國ニ對スル信惑ヲ吹送ムノ效果ヲ果ゲテ學生等ヲ將
來ノ侵略戦争ニ備ヘシメマシタ。

道 川 (Y)